



松明

(令和7年3月・4月号) 2025 vol.2



令和6年度 福島病院QCサークル活動発表会より

QCサークル最優秀賞を受賞して

サークル名「ちはやふる」で「うちやぶる (打破)」 多職種混合チーム
地域医療連携室 降矢美恵

このたび令和6年度 福島病院 QC サークル活動発表会において、最優秀賞を受賞いたしました。今回の活動にあたっては、主治医、企画課、臨床工学技士、外来や病棟スタッフの皆様方のご理解とご協力を頂きまして心より御礼を申し上げます。

昨年は、取り決めが曖昧なまま長い間在宅医療物品のお渡しをしていた現状を把握することから始まりました。2年越しの取り組みは「加算に沿った在宅物品のお渡しができること」の目標を打破する「うちやぶる」ことができました。

外来や病棟では、細かな在宅物品を多く扱うため外来受診時や退院時に物品をお渡しする場面で対応に困り、戸惑う場面もありました。チームメンバーからは、「取り決めが不十分だよね。」「コスト意識が大事だよね。」「ご

家族への負担を何とかしたい」というそれぞれの思いを一つに取り組み、「在宅医療物品のお渡しに係る算定漏れを病棟・外来ともに0にする」ことを目指しました。在宅医療物品お渡し票を導入するために退院支援を行う病棟と物品お渡しの多い外来へ活用方法を説明しました。お渡し物品の種類と個数を看護記録に残すことで、物品お渡しに関するスタッフの意識に変化が見えました。看護師のコスト意識が向上し、病棟、外来、地域医療連携室の情報共有が増えたことで連携を強めることができました。

これからも患者様そして地域の皆様のために多職種と協同しながら力強く「ちはやふる」困難な問題を打破「うちやぶる」しチームワークで様々な課題に一つ一つ取り組み改善していきたいと思います。



本号のご案内

- QCサークル最優秀賞を受賞して 1
- 令和6年度 福島病院Cサークル活動発表会 2
- 看護部だより 避難訓練に参加して 2
- 療育だより 福島病院灯籠祭り～様々な冬を感じる～ ... 3
- 外来担当医表 4

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

令和6年度 福島病院Cサークル活動発表会

管理課 庶務係 森田直美

3月5日に令和6年度 QC サークル活動発表会が開催されました。1年間を通して改善に向けた取り組みを行った結果について、それぞれのサークルの代表者が発表を行いました。
今年度は10サークルが参加し、特に成果のあった4サークルが表彰を受けました。

●令和6年度 QCサークル活動発表一覧

部署・サークル名	テーマ・タイトル	リーダー	区分	順位
1病棟 チームよかよか	♥患者も家族もNSもみんなで HAPPYになれたらYOKA！！	佐藤 涼	問	
3病棟	尿漏れを減らしたい	坪井 綾香	問	
Team5	Fulfilling life project 抑制解除忘れてるようじゃダメか 抑制解除はケアにいられておかないと	佐野 明恵	問	
ウェルカムレスパイト	レスパイト入院をスムーズにしよう	芳賀 理賀	問	
放射線科 まぐねていっく・れぞなんす・いめーじんぐ	MRI検査問診票の改訂	面川 敦子	課	3位
研究検査科 タイムパフォーマンスチーム	翔んで検体不備2024 ～検査科より愛をこめて 検体不備を減らそう～	梅原 さや香	問	特別賞
リハビリテーション科	急変時に対応できるリハビリスタッフへ ～患者様に安全安心を提供するために私たちができること～	我妻 圭太	課	
おむすび ～朝ドラに負けないように頑張ります～	学会分類2021に合わせた食形態の提供～お粥編～	杉村 雄一郎	課	
多職種混合チーム 「ちはやぶる」で「うちやぶる（打破）」	19年来の障壁に立ち向かう！！ ～加算に沿った在宅医療物品のお渡し～ 続編	降矢 美恵	課	1位
看護師長会福島スリム美人	看護師長の経営参画アップデート作戦 ～衛生材料の見直し～	三浦 真理	問	2位

看護部だより

避難訓練に参加して

第1病棟 看護師 佐々木 里沙

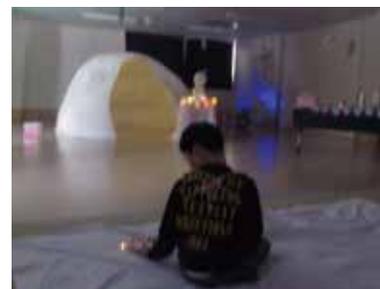
2月28日（金）今回は、1病棟で夜間の火災を想定した訓練を行いました。避難経路や消火器の場所、動きなどメンバーとシミュレーションをして臨みました。実際訓練が始まると全員が緊張感を持って声を出していました。私はリーダーとしての役割でしたが、各部署から駆けつけた応援者みんなに声が届くよう大きな声で指示を出すように心掛けました。それでも、緊張感から慌ててしまい発火場所前を通らないための経路やどの患者さんを避難させるべきなのかなどの具体的な指示だしが不

足してしまう場面がありました。実際の火事はあってはならないことですが、万が一の場合、誰もが慌ててしまうことは十分想定されます。常日頃から冷静に行動することを心掛け、火災や地震のように突発的に起こり得る災害に対して、患者さんに安全に避難していただけるよう冷静に対応することの重要性を再認識することができました。

この学びを病棟で共有し、病棟内での訓練に活かしていきたいと思います。



皆さんは冬といえば、何をイメージしますか？「雪」や「こたつ」等、様々なものを思い浮かべると思います。重度心身障害児(者)病棟では、「冬」をテーマにした行事が、1月中旬からスタートしました。療育棟内には、かまくらや雪遊びコーナー、足浴・ホットパックコーナー、床おりコーナー等、患者さんが参加して様々なことを体験出来るよう、複数のコーナーを配置しました。一番目を引く「かまくら」は、大きな車いすでも中に入れるよう高さと幅にこだわり作成しました。患者さんに好評で中に入って写真を撮ったり、外から眺めたりと様々な方法で楽しむことが出来ました。また、ところどころに置いてある灯籠は、病棟ごとに制作しました。療育活動の中で、お花紙を千切ってクリアファイルに貼り付ける作業を実施。色や模様が1つ1つ違って、それぞれ素敵な灯籠が出来上がりました。今回の行事では、ゆったりのんびり過ごしながらそれぞれ「冬」を満喫することが出来たようです。今後も患者さんに楽しい行事や活動を提供することが出来るよう努めて参ります。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和7年4月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋	安田千尋		
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	杉浦嘉泰	伊藤英一		杉浦嘉泰
小児科		福島医大郎 氏家二郎	石井勉	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)		氏家二郎	石井勉			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和7年4月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)

診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

3月に入り天気も穏やかになりました。今年の冬は年明けからの寒波の影響で猪苗代を中心に大雪に見舞われました。病院周辺も例年以上に積もり、何十年振りに雪だるまを作りましたが、美的センスがなくただのスノーモンスターになりました。来年はもっとセンスある雪だるまを作りたいです。
(編集委員 H・A)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>